

# 弘前市市民参加型まちづくり 1%システムについて

令和元年7月4日（木曜日） 兵庫県高砂市議会議員様 行政視察資料  
作成 弘前市 市民生活部 市民協働課



- ① 制度創設の経緯・位置付け
- ② 制度概要
- ③ まちづくり1%システム審査委員会
- ④ これまでの実績
- ⑤ 周知方法及び事業成果発表会
- ⑥ 今後の課題

# ① 制度創設の経緯・位置付け

2

## 制度創設の経緯・位置付け

### ○ 制度の創設

H22.4 前葛西市長就任

選挙マニフェスト  
⇒ 市民参加型1%システムの導入

H22.10 弘前市アクションプラン2010策定

弘前市総合計画（H20.1策定）

= 基本構想 + 基本計画

= 基本構想 + アクションプラン

H23.6 制度の創設

3

## ② 制度概要

4

### 制度概要

市民のみなさんの活動のきっかけづくりや  
活動内容の充実・発展のために



5

## 制度概要

【財源】 個人市民税の1%相当額

平成23年度～平成24年度予算

→6,000万円

平成25年度～29年度予算

→3,000万円

平成30年度予算～

→2,800万円

○市民自らが実践する

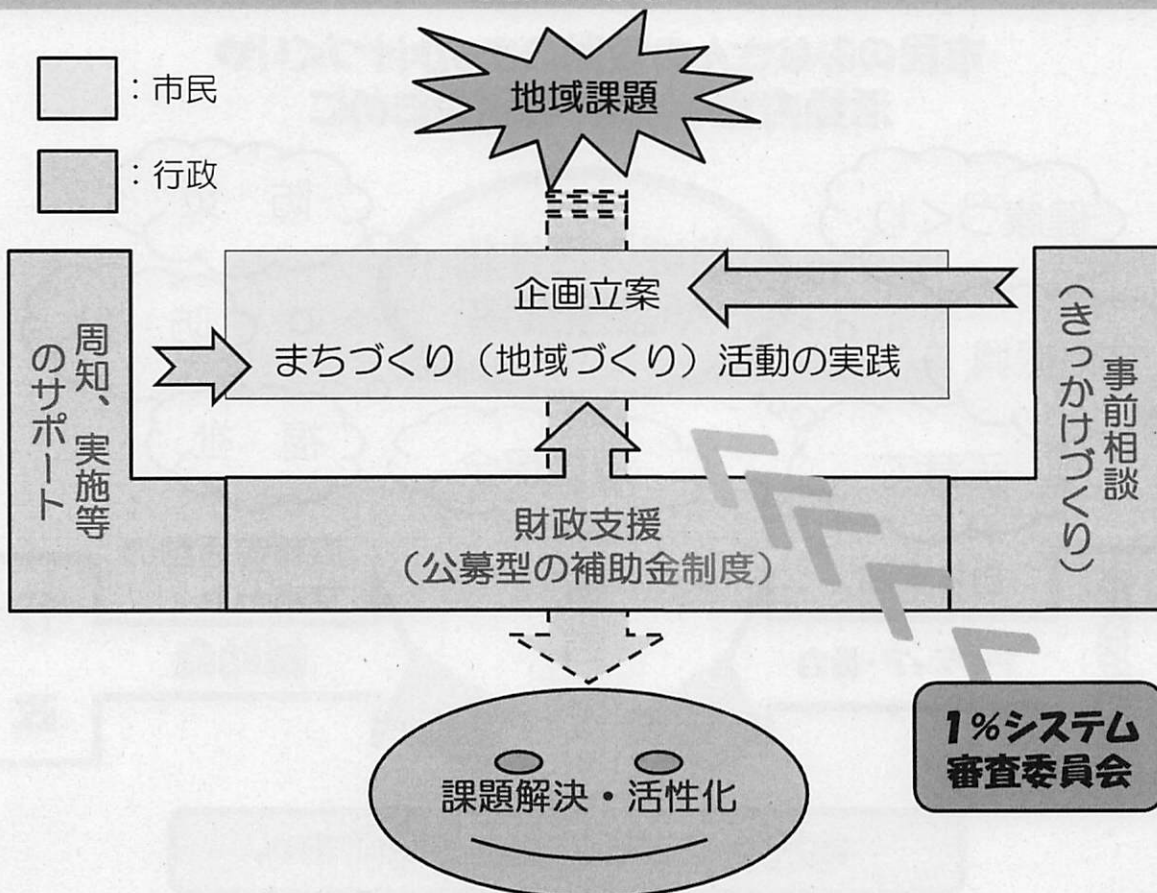
まちづくり活動・地域づくり活動

支援

公募型の補助金制度

6

## 制度概要



7

## 制度概要

### 事業採択

「まちづくり1%システム審査委員会」の審査を経て、決定します。

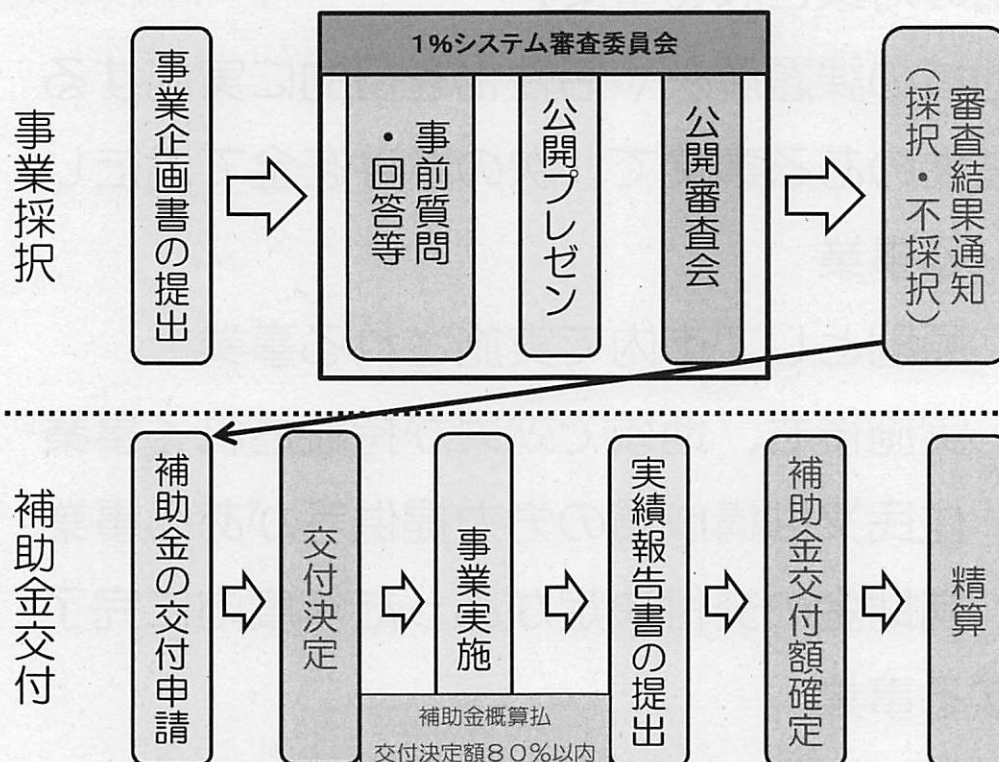


「市民力」による魅力あるまちづくりの推進

8

## 制度概要

【応募から事業完了までの流れ】



9

## 制度概要

【応募できる団体】 次の要件を全て満たしている団体

- ① 構成員が5人以上であること。
- ② 主に市内を活動拠点としていること。
- ③ 組織の運営に関する規則（規約・会則等）  
を有していること。
- ④ 継続的かつ計画的に事業を行うことが可能であること。
- ⑤ 市内に事務所又は事務局を置くこと。

※ 既存の団体のほか、新たに組織する団体も対象

10

## 制度概要

【補助の対象となる事業】

地域の課題解決や活性化を目的に実施する  
公益性のある事業で、次の要件を全て満たし  
ている事業

- ① 原則として市内で実施される事業
- ② 実施後も、地域で効果が持続される事業
- ③ 住民又は構成員の労力提供等がある事業
- ④ 補助金の交付決定があった年度内に完了  
する事業

11

## 制度概要

### 【対象外事業】

次のいずれかに該当する事業は、対象外

- ① 営利を目的とする事業
- ② 特定の個人や団体が利益を受ける事業
- ③ 政治、宗教又は選挙活動を目的とする事業
- ④ 市の他の補助金、国・県若しくはその他の機関から補助金の交付を受け、又は受ける見込みである事業
- ⑤ 市との共催の事業
- ⑥ 法令、条例等に違反する事業
- ⑦ その他公序良俗に反する事業

12

## 制度概要

### 【補助の対象となる経費】

対象事業を実施するために直接必要な経費で、次に定める項目

項目	対象となる経費
講師等謝礼	外部講師や専門的技術を有する協力者への謝礼等
交通費	講師等への交通費・宿泊費
消耗品費及び原材料費	事業実施に直接必要な消耗品費・原材料費
食糧費	事業実施に直接必要な食糧費（実施日当日分のみ） ※ 支給要件及び上限額あり
燃料費	作業等に必要機材、車両等の燃料費
印刷製本費	ポスター・チラシ、資料等の印刷代・コピー代等
通信運搬費	事業実施の周知・連絡等に要する郵便料等
保険料	事業実施に係る参加者等の保険料
使用料及び賃借料	事業に要する会場使用料、車両・機械等の借上料
その他	審査委員会の意見を聴いて市長が適当と認めたもの

13

## 制度概要

### 【主な対象外経費】

- ① 団体の維持及び運営に係る経費
  - ② 団体構成員に対する人件費及び謝礼
  - ③ イベント・大会等の参加者に対する記念品・参加賞の経費
  - ④ 懇談会や慰労会等の飲食代
- ※ 領収書がないなど用途が不明なものは対象外

### 【補助金の額】

次のいずれか少ない額とし、原則50万円を上限（千円未満の端数切捨て）

- ① 補助対象経費の90%以内の額
- ② 事業の支出総額から収入（参加費、協賛金等）を除いた額

14

## 制度概要

### 【事業の募集期間・実施期間】

事業募集は、1年度3回/R元年度は次のとおり

- ①事業実施期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日  
1次募集期間：平成30年12月17日～1月25日
- ②事業実施期間：令和元年7月1日～令和2年3月31日  
2次募集期間：平成31年3月25日～4月24日
- ③事業実施期間：令和元年10月1日～令和2年3月31日  
3次募集期間：令和元年7月1日～7月31日

15



### ③ まちづくり1%システム 審査委員会

16

#### まちづくり1%システム審査委員会

##### 【位置付け】

地方自治法に基づく附属機関

(弘前市附属機関設置条例 (H26弘前市条例第2号))

##### 【目的・委員構成】

「1%システム」を円滑に進めるため設置した組織で、学識経験者や団体推薦者、公募市民などの15名で構成されています。

- 学識経験者 2人
- 団体推薦者 8人

社会福祉協議会、社会教育協議会、環境パートナーシップ、商工会議所、つがる弘前農業協同組合、町会連合会、ひろさき健幸増進リーダー会、大学コンソーシアム学都ひろさき

- 公募委員 3人
- その他市長が必要と認める者 2人

17

# まちづくり1%システム審査委員会

## 【1%審査委員会の役割】

- ① 応募事業の採択・補助金額の精査  
 ⇒ 公開プレゼンテーション・公開審査会  
 (2~3日×1年度3回)

〇6月22日(日)公開プレゼンテーション・審査会予定表 ※1事業35分(プレゼンテーション15分・審査20分)

開始時間	団体名	事業名
8:45	桜庭町会	5. 桜庭町会内の危険箇所及び道路舗装整備事業
9:20	楽しいね東目屋!実行委員会	13. 東目屋地区活性の為に回覧板新聞発行事業
9:55	ふくろうの会	7. ふくろうと共存するりんご生産における農業の新展開
10:30	休憩(10:30~10:45)	
10:45	津軽節地域づくり実行委員会	26. ギネス記録も持つ!!津軽の笛が大集合! 第2回 津軽節博覧会
11:20	岩木山観光協会	6. 岩木山エコプロジェクト
11:55	休憩(11:55~13:00)	
13:00	石渡町会	18. 石渡町会ふれあいの集いと自主防災訓練
13:35	弘前学生BBS会	25. Nature 今こそ自然に還るとき
14:10	休憩(14:10~14:25)	
14:25	HMD弘前	24. 第12回ホームムービーの日
15:00	国吉町会	17. 山岸運改良事業
15:35	休憩(15:35~15:50)	
15:50	城西学区子ども安全サポート推進事業部	4. 城西学区安全で安心な「地域安全マップ」作製事業
16:25	岳陽ふるさと創生会	9. 2014岩木町絆フェスティバル事業
17:00	審査終了	

18

# まちづくり1%システム審査委員会

## ◎ 公開プレゼンテーション(1事業15分)

(応募団体)

事業概要、目的、必要性、事業効果などを説明。(7分以内)

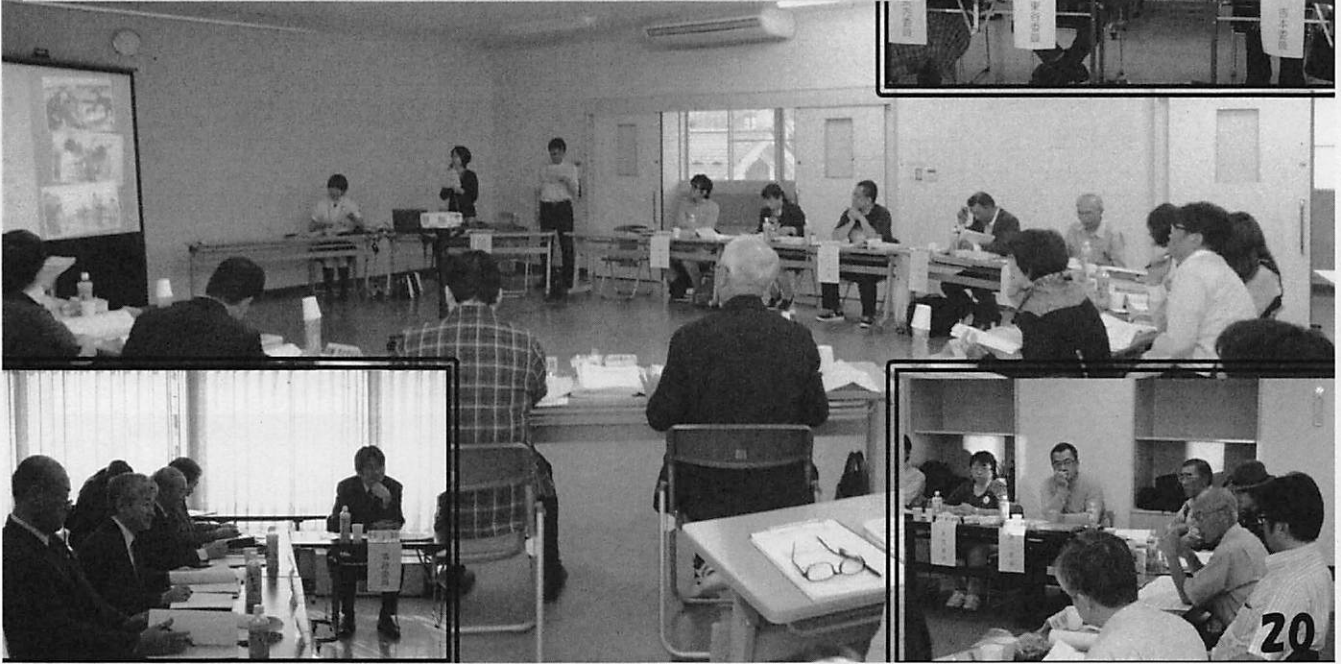
(審査委員)

説明を聞き、質疑応答を行う。(8分程度)  
 (事業実施に向けた提案 = 審査&応援)

19

## まちづくり1%システム審査委員会

- ◎ 公開審査会（1事業20分程度）  
プレゼン終了後に、審査会を開催  
（必要に応じて市担当課職員も出席）



## まちづくり1%システム審査委員会

（公開審査会）

採点方式により、事業採択を決定

100点満点中 60点以上 ⇒ 採択

60点未満 ⇒ 不採択

平均点が3点未満の審査項目がある場合 ↗



## まちづくり1%システム審査委員会

審査項目	
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている
実現性	⑤ 事業計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる

### ●採点方法

審査委員1人100点満点 = 10項目 × 10点

【審査項目10項目、採点6段階評価（10点、8点、6点、4点、2点、0点）】

## まちづくり1%システム審査委員会

### 【1%審査委員会の役割】

- ② 応募事業完了後の効果の検証（1回）
  - ⇒ 事業成果発表会（継続事業は次年度審査会）
- ③ 制度内容の見直し（数回）
  - ⇒ 1%システムの制度自体を審議し、次年度へ反映

∴応募事業、1%システムとともにPDCAサイクルによる進化・成長

## ④ これまでの実績

24

### これまでの実績

#### 【平成23年度実績】

応募事業数 44件

⇒ 採択事業数 28件（うち交付申請辞退5件）

⇒ 交付決定 23件（740万8千円）

#### 【平成24年度実績】

応募事業数 51件

⇒ 採択事業数 43件

⇒ 交付決定 43件（1,578万7千円）

#### 【平成25年度実績】

応募事業数 59件

⇒ 採択事業数 50件

⇒ 交付決定 50件（1,711万8千円）

#### 【平成26年度実績】

応募事業数 64件

⇒ 採択事業数 58件（うち交付申請辞退1件あり）

⇒ 交付決定 57件（1,832万6千円）

25

## これまでの実績

### 【平成27年度実績】

応募事業数 58件  
 ⇒ 採択事業数 52件  
 ⇒ 交付決定 52件 (1,775万1千円)

### 【平成28年度実績】

応募事業数 65件  
 ⇒ 採択事業数 59件  
 ⇒ 交付決定 59件 (1,976万5千円)

### 【平成29年度実績】

応募事業数 82件  
 ⇒ 採択事業数 69件  
 ⇒ 交付決定 69件 (2,475万7千円)

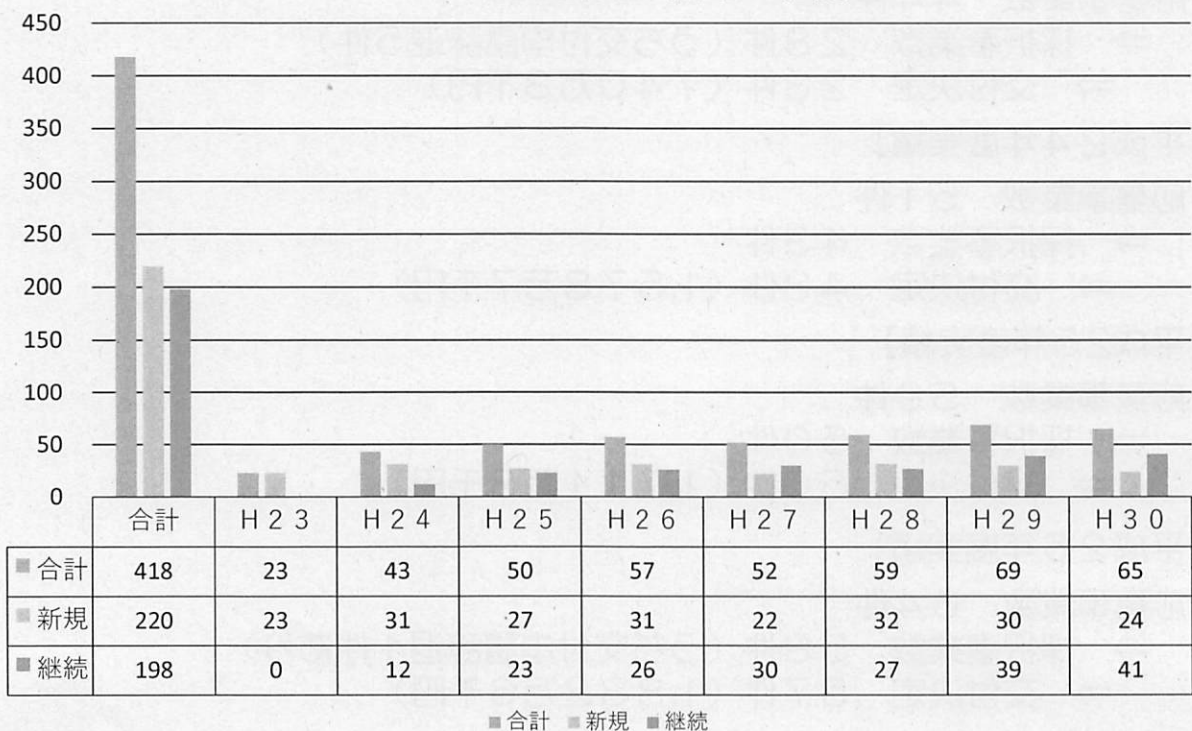
### 【平成30年度実績】

応募事業数 69件  
 ⇒ 採択事業数 65件  
 ⇒ 交付決定 65件 (2,272万4千円)

26

## これまでの実績

交付決定件数 (新規・継続)



27

## これまでの実績

### 【採択事業の紹介①】

事業名 放棄地の環境整備と美化（史跡里山環境美化）活動

（乳井町おこし協力会）

事業目的 自然と史跡を生かした里山の復活

事業概要 乳井町会内の史跡である茶臼館、ホタルが集まるため池の沿道整備、ホタルの鑑賞会等の実施

実施方法 こども会や消防団、老人クラブ等の参加を得ながら実施

事業効果 地域への愛着心

➤ 次世代へ繋がる活動

➤ 地域力の向上



28

## これまでの実績

### 【採択事業の紹介②】

事業名 大仏公園紫陽花まつり（石川町会）

事業目的 大仏公園の紫陽花まつりを広く発信

事業概要 石川町会内にある大仏公園で、7月に行っている紫陽花まつりを周知し、特別イベントで紙ひこうき大会やジャズコンサートを実施

実施方法 町会役員を中心に公園内の見回りを行い、安全面に配慮しながら、クイズや俳句・短歌の募集などを実施

事業効果 地域交流の活発化

弘南電鉄の利活用



29

## これまでの実績

### 【採択事業の紹介③】

事業名 南城西町会加入と活動参加促進のためパンフレット

「みな南城西っ！！（仮）」製作事業

（南城西町会）

事業目的 老若男女、誰でも町会活動に参加しやすい空気の醸成

事業概要 楽しく読みやすいパンフレットを作成し、PR

実施方法 町会有志のWGで取材し、原稿作成

事業効果 加入世帯の増加

➤ 町会活動の活性化

➤ まちづくり、防災意識や連帯感の向上



30

## これまでの実績

### 【採択事業の紹介④】

事業名 常盤野町会防災活動（常盤野町会）

事業目的 防災意識の向上、実践的防災意識・技術の習得

事業概要 救急法講習会、防災マップづくり、子ども会防災キャンプ等

実施方法 子どもから大人まで幅広い年齢層を対象に実施

事業効果 町会内の連携強化



31



## これまでの実績

### 【採択事業の紹介⑤】

事業名 弘前城リレーマラソン

(特定非営利活動法人 スポネット弘前)

事業目的 健康増進、多世代交流の促進、地域の活性化等

事業概要 チームがタスキリレーで、42.195kmの完走を目指す  
リレーマラソンを実施

実施方法 参加対象は、子どもから高齢者まで幅広くし、運営は、他  
団体との連携を図るとともに、ボランティアを募集

事業効果 弘前公園の有効活用・健康づくりへの意識向上



32

## これまでの実績

### 【採択事業の紹介⑥】

事業名 弘前市民の森で元気になろう (弘前市民の森の会)

事業目的 健康と生きがいづくり、多世代交流の促進

事業概要 自然環境に恵まれている「市民の森」で、森林療法や園芸  
療法の体験等や健康相談を兼ねたセミナー等を実施

実施方法 チラシやポスター広報等で広く参加者を募集し、ボラン  
ティアとして参加している学生と高齢者との世代間交流  
を図る

事業効果 高齢者の生きがいづくり・健康増進



33

## これまでの実績

### 【採択事業の紹介⑦】

事業名 ふくろうと共存するりんご生産における農業の新展開  
(ふくろうの会)

事業目的 りんご農園にふくろうの棲める環境をつくる

事業概要 ねずみの天敵であるふくろうは、りんご農家にとって有益な鳥であるため、巣箱をりんごの木に設置し、ふくろうが増えやすい環境を整備

実施方法 弘前大学の協力のもと、巣箱を設置し調査を行う。

事業効果 ふくろうの生育が確認



フクロウでネズミ退治

野ネズミがリンゴの樹を食い荒らす被害に悩むリンゴ農家が、食害防止策の一環としてフクロウの巣箱を設置して「ふくろうの会」がスタート。この日誌では、設置された弘前大学農学生命科学部農学専攻の指導のもと、農家のリンゴ園に設置された巣箱にふくろうの雛が確認されたことが報告されている。

弘前のりんご農家有志  
ひな13羽すくすく



野ネズミ対策 巣箱設置  
野ネズミ対策として、農家のリンゴ園に巣箱を設置し、ふくろうを増やすことで、ねずみの被害を減らすことが期待されている。

## これまでの実績

### 【採択事業の紹介⑧】

事業名 ~人とまちとをつなげたい！持続的な取組を目指して~  
電車とバスの情報誌「ほっと」Vol.2発行プロジェクト  
(H・O・T Managers)

事業目的 バス・電車の利用に伴う疑問の解消、地域の魅力の発信

事業概要 情報誌「ほっと」の作成

実施方法 弘前に初めて住む大学1年生を仮想に、電車やバスの使い方、路線図、時刻表、地域情報を掲載

事業効果 公共交通の利用促進



## ⑤ 周知方法及び 事業成果発表会

36

### 周知方法

#### 【事業の周知方法】

- 市内の各町会、NPO法人、ボランティア団体、過去の申請団体に対し、事業募集のお知らせを送付
- 市の施設及び市内6大学及び専門学校へ事業募集のポスターの掲示とチラシ設置
- 市のHP及び市の広報、課のFBへの掲載
- 庁内に設置しているコミュニティビジョンでの広報

など

37

# 事業成果発表会



## 市民参加型まちづくり1%システム 事業成果発表会・パネル展

平成29年度に1%システムを活用して実施した事業をご紹介します。  
さまざまなジャンルの事業が行われておりますので、日頃の活動の参考になる部分  
や、参加できそうな事業もあるかもしれません。  
出入りは自由です。お気軽にお立ち寄りください。

### ❖ 事業成果発表会 ❖

5月19日(土)  
午後1時30分から(2時間程度)  
ヒロコ3階 イベントスペース

- ・ほかの団体さんどんな活動をしているのか気になる!
- ・いろいろな活動に参加してみたい!
- ・いろいろはげび、お話を聞いてみませんか。

※詳細につきましては、裏面をご覧ください。

### ❖ パネル展 ❖

5月19日(土) 午後1時30分から  
25日(金) 午後4時まで  
ヒロコ3階  
大町側エスカレーター付近

平成29年度に1%システムを活用して実施した  
事業について展示します。  
お時間のあるとき、お買い物がついでに  
ぜひご覧ください。



問い合わせ 弘前市市民文化スポーツ課  
市民協働政策課 市民協働課  
電話(前掲)40-7108  
Eメール: shiminkooudou@city.hirosaki.lg.jp  
HP: <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/soudo/zhiercent/>  
Facebook: <https://www.facebook.com/mad20160302/>

●●● 駐車場をご利用の方へ ●●●  
駐車場をご利用の方は会場へ駐車券をお持ちください。  
施設に記載しているヒロコ駐車場、  
市営駐車場(弘前駅中央口・城東口)をご利用の方は  
3時間まで無料になります。



★事業成果発表会予定表 ※開始時刻は目安です。詳細によっては発表の順番や時間等変更するごも承知願いますので、予めご了承ください。

開始時刻	事業名	団体名
	開 会	
13:30	イキイキ健康クラブスマイル	イキイキ健康クラブスマイル
13:35	定期的高齢者を対象とした健康体操と、日頃の悩みや生活に役立つ情報交換ができる場を提供することや、教養講座等を開催することで、心と体の両面からアプローチし、明るく健康で、生き生きとした高齢者を増やすことを目指しました。	
13:50	WAのりんご ～もっとりんごを身近に～	Aプロジェクト
	りんごそのものの3倍で大きく、りんごの加工品・木や枝を使った工芸品といった弘前のりんご産業の魅力により市民に知ってもらい、生活にりんごを取り入れてもらうことを目指し、ワークショップなどを開催しました。	
14:05	鬼籍地域 「歴史と伝説の里づくり事業」	歴史と伝説の里「鬼沢の会」
	鬼沢地域に伝わる「鬼伝説」や、義経・藤田氏次郎の生涯を紹介し、関連史跡を効果的したり、遺跡体験や郷土料理を試食したりするツアーを開催し、地域外に鬼沢の魅力を発信しました。	
14:20	休 憩	
14:30	津軽カリスト 太宰治 ドラマリーディング定期公演 事業 津軽カリスト	
	※ドラマリーディングの要領があります!	
14:30	「弘前は太宰治研究の街である」ことのPRを目的に、太宰治の作品をアレンジして、作品が書かれた時期ごとの特集を組んだり、季節性のある作品を取り入れるなど、ドラマリーディング形式で定期公演を行いました。	
14:50	DOG FES IWAKI 2017	DOG FES IWAKI 実行委員会
	愛犬と暮らす環境を少しでも良くするため、愛犬家と楽しみながら、人と犬との関係性やマナーを学ぶ場として、Fogランや、しつけ教室などのワークショップ、ミニゲームなどに参加できるDOG FES IWAKI2017を開催しました。	
15:05	青森サミット2017	ひろさきナラティブ.net
	医療・福祉・介護専門職と、地域おこし等の活動をしている団体や個人がお互いを認知し、つながることを目指し、県内外で活躍している多様な団体の活動報告・基調講演・団体同士との交流時間で構成される青森サミットを開催しました。	
15:20	講 評	
	閉 会	



# 事業成果発表会



## ⑥ 今後の課題

40

### 今後の課題

地域社会の課題解決や活性化について考え、市民が主体的に取り組む状況が増えているが、事業を継続する中で、活動資金がなかなか得られないことや、人材不足など、団体が自立して活動を続ける上での課題も見えてきている。



#### ・その取組みを継続させる仕組み・体制づくりを行うこと

〈継続性を確保するためには〉

協働の当事者(行政と市民活動団体)が、将来この事業をどのように継続・発展させていくかという「出口」を構想し構築することが必要不可欠

41

### 「出口」

①市民活動団体が自立して事業を継続すること

※自立を支援する仕掛けを盛り込まなければならない。

②市民提案を行政サービスとして「政策化」し、継続的に運営していくこと

#### 【平成30年度からの取り組み：交流会の開催】

団体同士が交流し、情報交換・お互いのノウハウの提供などをしたり、行政と団体間のつながりを構築していくことで今後の活動の継続・発展につなげる。